日本財団「令和元年台風 19 号等の被害に関わる活動支援」の報告（埼玉）

・関東ろうあ連盟から埼玉県聴覚障害者協会へ依頼
・関東ろう連盟から現地調査派遣　担当：小出

【東松山市】

・令和２年３月２２日（日曜日）　午前 11 時から 12 時
・調査場所：東松山市
・東松山市聴力障害者会：2 名
・調査担当：小出真一郎
・調査報告：以下のとおり
◆調査報告
１．安否確認調査について
　・被害者：０人、
　・人的被害：なし。
　・避難指示：あり、３名（避難先：高坂小学校）
　・自主避難：避難先　高坂小学校
　・停電：あり、約４００軒
　・住家被害：床上浸水あり（１軒）約５０~７０ｃｍ
２．困ったことについて
　・特に停電あって冷蔵庫、風呂、TV（アイトラゴン見られませんでした）、充電器等。
　・スマホで緊急速報メールがあった。警戒レベルは、高いレベル 5 からレベル 1 の 5 段階の意味が分かりませんし、避難か、自宅に待つかどうすればよいかにもかかわらず避難できなかった。
３．台風 19 号の様子の写真撮影

【川越市】

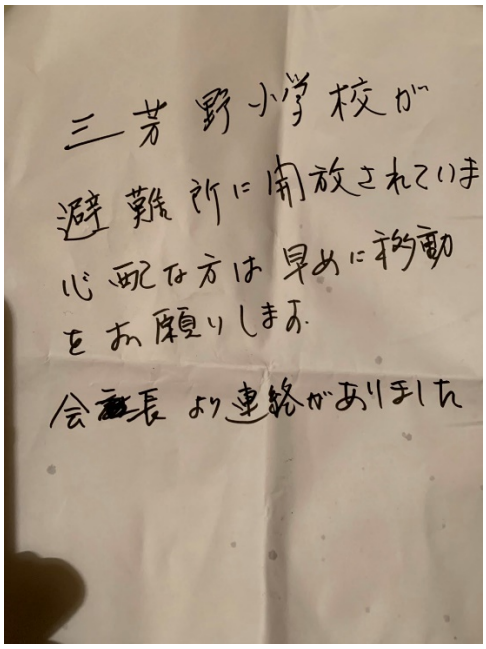
・令和２年３月２２日（日曜日）　午後３時から４時３０分
・調査場所：川越市
・川越市聴覚障害者会：２名（会長１名、役員１名）
・調査担当：小出真一郎
・調査報告：以下のとおり
★台風 19 号で川越市聴覚障害者協会会員が困ったこと
①　　避難所では市の職員の方々が懇切に瑕疵なく対応してくださいましたが、アナウンスが聴こえないので、何かの配慮があればより良いかな？と思いました。
②越辺川氾濫に関して、県道 256 号の通行止の情報が入らなかった。実際に行って初めて知った。
③特にないが、避難所に行った場合、何したら良いのか。どこから情報もらうのか、不安になった。
★台風 19 号について川越市聴覚障害者協会の総括
台風 19 号で川越市の一部の地域、他東松山市等で供水被害が出た時は役員同士で情報交換をしながら、会員の安否確認を行い、埼聴協事務局と川越市障害者福祉課に報告しました。会員の中では避難所に避難した方も数名おられたようです。会員より避難所の中では新設に対応してくれたものの、目で見てわかる情報の掲示がなかったこと、どこの避難所が開設されているのか、どこの道路が冠水して通行止めになっているのかの情報がほしい、といった声がありました。
〇川越市へ要望することは
①避難所等で、アナウンス情報を目で見てわかるよう掲示すること
②川越市防災メールでは、冠水の場所、通行止めの場所も知らせること
③帰宅困難者訓練では、前回同様、掲示板や一時滞在施設までのマップ配布はありましたが、受付時から掲示・配布であったため、訓練の中で掲示・配布するように求めていきたいと思います。

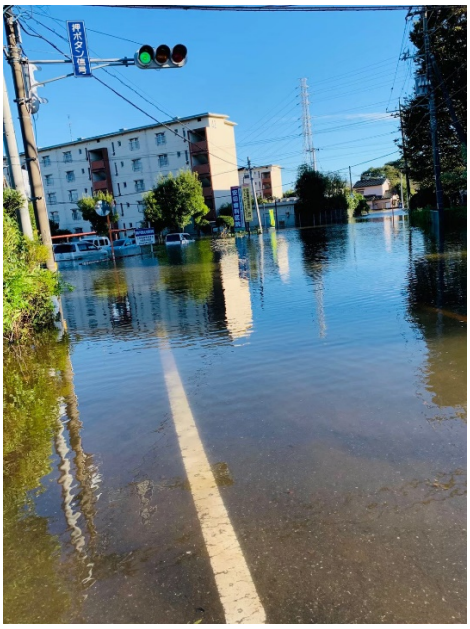
〇川聴協から会員へ
①川越市の防災メールの登録を勧める
川聴協公式 LINE について説明、登録を勧める

【坂戸市】

・令和２年３月２２日（日曜日）　午後１から３時
・調査場所：坂戸市
・坂戸市聴力障害者会：2 名、坂戸手話サークル：２名
・調査担当：小出真一郎

◆調査報告
2019 年 10 月 12 日（土）
午前　警戒レベル 3
11 時　坂戸市聴力障害者の会のグループ LINE で情報収集開始
16 時　警戒レベル 4
　　避難所についての情報提供





居場所の確認
2019 年 10 月 13 日（日）
7 時 30 分　警戒レベル 5

避難状況（避難所）
　聴覚障害者　５名
　手話サークル　５名
　床上浸水　１件

＜台風 21 号＞
2019 年 10 月 25 日（金）
11 時 50 分　警戒レベル 3
15 時 10 分　警戒レベル 4
避難状況（避難所）
聴覚障害者　２名